

令和 8 年度
博物館等施設事業
計 画 書 (案)

軽井沢町教育委員会

目 次

項目	ページ
軽井沢町歴史民俗資料館事業計画 旧近衛文麿別荘(市村記念館)事業計画	1
追分宿郷土館事業計画	2
堀辰雄文学記念館事業計画	3
軽井沢町植物園事業計画	4
室生犀星記念館事業計画	5
ショーハウス記念館事業計画	6
軽井沢型絵染美術館事業計画	7
令和7年度文化施設等 イベントスケジュール	8

令和8年度歴史民俗資料館事業計画 旧近衛文麿別荘（市村記念館）事業計画

1. 活動方針

- ・施設テーマ「道の文化と高原の生活」「別荘コミュニティーを中心としたもう一つの軽井沢の発展」に沿った関連資料の整理、保管、展示を行う。
- ・入館者や館外からのレファレンス、及び団体見学者への対応。
- ・特別企画展や秋季特別展（令和4年度より）、各種講座などの事業実施にあたっては、他の文化施設とも連携し、新規来館者だけではなくリピーターの増加につなげる。
- ・軽井沢の歴史と文化を学び、軽井沢学を進化させる場所とする。
- ・あめりか屋建築（大正時代）、「旧近衛文麿別荘」の歴史及び建物保存に努める。

2. 重点目標

- (1) テーマに沿った資料の整理・保存・展示に努める。
- (2) 収蔵資料を活用した館内展示を行い、来館者の増加を図る。
- (3) 収蔵資料の整理・調査を行うとともに、利用者や館外からの問合せなどに対応する。
- (4) 特別企画展や秋季特別展、文化講座の開催にあたり町内外への周知を強化し、地元の方にも施設への理解を深めていただくよう努める。
- (5) 建物の保全や周辺整備、また情報発信に努める。

3. 事業計画

(1) 開館期間

令和8年4月1日（水）～11月15日（日） ※11月2日（月）、11月9日（月）休館

(2) 特別企画展

「軽井沢町立東部小・中部小開校70周年記念 学ぶ・教える展」（仮題）

・期間 令和8年7月15日（水）～11月15日（日）

※11月2日（月）、11月9日（月）休館

① 特別企画展講演会

特別企画展開催中に企画展に関連した講演会を開催予定

(3) 秋季特別展

「ポール・ジャクレー展～自然と暮らしを見つめて～」（仮題）

・期間 令和8年9月15日（火）～11月15日（日）

※11月2日（月）、11月9日（月）休館

① 旧三笠ホテルでの展示

旧三笠ホテル、ギャラリーでのポスター等の展示

(4) その他

- ・軽井沢の歴史民俗に関連した文化講座を1回開催予定
- ・歴史体験講座開催予定
- ・広報かるいざわ、ホームページ等での広報活動（随時）
- ・学校教育等受け入れ（軽井沢学及び民具などの見学）
- ・収蔵資料の調査管理

令和8年度追分宿郷土館事業計画

1. 活動方針

追分宿郷土館のテーマ「街道の歴史と文化～追分の古代から現代まで～」に基づき
軽井沢西地域に関する資料を収集・保管・展示し、住民及び来軽者の利用に供し、
「地域の博物館」としての活動、及び「軽井沢の歴史と文化」を楽しく学び、親しま
れる施設とする。

追分宿の歴史的町並みと文化的風土の保護・保存・創造について地域と協力する。

2. 重点目標

- (1) 中山道追分宿及び軽井沢町西地区に残る歴史資料の所在調査を進め、歴史資料、
民俗資料、図書資料（古文書、標本、写真、美術工芸、建築、石造文化財、文学等）の
収集、整理、調査研究、保存、保護、展示に努める。
- (2) 利用者の調査閲覧に応えるため展示・資料整備を進める。
- (3) 地域の人々に、地元の歴史博物館として親しみを持ち理解を深めていただけるよう
活動を行う。
 - ・町内の学校と連携し、「軽井沢学」や社会科学習での利用を推進する。
 - ・佐久管内の学校及び町内に研修所等を有する学校等と連携を図りながら、体験・散
策等、児童・生徒が進んで郷土館を利用できるよう情報発信を行う。
 - ・北側空地の有効活用に努める。（馬子唄道中や縄文土器野焼き体験での利用等）

3. 事業計画

- (1) 開館期間 4月1日(火)～令和9年3月31日(水)

(2) 特別展・企画展

- ① 特別企画展「浅間山・夜分大焼」 7月25日(土)～12月末(予定)
- ② 企画展「稻垣黄鶴一書の世界」(仮題) 7月1日(水)～10月31日(土)(予定)
※開催場所：離山公園旧雨宮邸新座敷
- ③ 企画展「江戸時代・馬子たちの仕事－駄賃の相場から」／「昔の道具」(仮題)
令和9年1月～3月(予定)

(3) その他

- ・教養講座、古文書講座を開催予定
- ・散策会を開催予定
- ・子ども歴史体験講座を開催予定
- ・広報かるいざわ、ホームページでの広報活動（随時）
- ・リゾートコンサート、無形民俗文化財コンサートを開催予定
- ・町無形民俗文化財後継者育成事業（追分節・熊野皇大神社太々神楽）の推進
- ・学校教育等受け入れ
- ・資料の収集・整理・保存

令和8年度堀辰雄文学記念館事業計画

1. 活動方針

堀辰雄に関する資料の保存と収集に努め、これらを公開展示することにより、堀辰雄及び関連文学者の文学的調査研究等に広範囲な提供を図ると共に地域文学館として地域住民や来館者に身近な文化活動を積極的にすすめる。

2. 重点目標

- (1) 堀辰雄所蔵図書並びに収蔵資料の調査研究・保管・整理及び展示を行う。
- (2) 堀辰雄に関する資料の収集を進め、利用者の閲覧に供する。
- (3) 企画展やイベントの開催により堀辰雄とその周辺作家の文学の魅力を発信する。
- (4) 町内の学校と連携し、「軽井沢学」や国語科学習での利用を推進する。
- (5) 子どもたちに文学を親しんでもらうための活動を推進する。

3. 事業計画

(1) 開館期間

4月1日(水)～令和9年3月31日(水)

(2) 特別企画展・企画展

①春期企画展：「『堀辰雄詩集』の世界」(仮題)

3月19日(木)～7月7日(火)(予定)

②特別企画展：「堀辰雄と文芸雑誌」(仮題)

7月11日(土)～12月27日(日)(予定)

(3) その他

- ・野いばら講座を開催予定(5月)
- ・緑陰講座を2回開催予定(7月～8月)
- ・子ども文学講座2回開催予定(夏休み・春休み)
- ・「堀辰雄を語る会」を開催予定(10月)
- ・朗読会を開催予定
- ・リゾートコンサートを開催予定
- ・自筆原稿、図書資料、関連新聞資料等の収集、整理、保管
- ・自筆ノオト他資料の複製等を進める
- ・広報かるいざわ、ホームページでの広報活動(随時)
- ・学校教育等受け入れ

令和8年度軽井沢町植物園事業計画

1. 活動方針

当植物園は『軽井沢の植物』を基本テーマとして、植物の宝庫である軽井沢に生育する植物を、実物をとおして学習、観賞できるよう植栽している。また、近年絶滅が危惧される植物が急増しており、今後これらの系統保存活動にさらに力を入れていく。

2. 重点目標

当植物園には、エンビセンノウ、サクラソウ、ルリソウ等絶滅が危惧される植物をはじめ、アサマフウロ、ツルカメバソウ、ハナヒヨウタンボク等の植物学的に貴重であり、軽井沢に特徴的な植物が保存されている。このような植物のほか地域の多様な植物について、大学や博物館等の専門機関、さらに地域との協力を図りながら調査し、その結果に基づいた保全を図り、将来に遺し伝えていくよう努める。

3. 事業計画

(1) 開園期間

4月1日(水)～12月25日(金)

(2) 企画展

「花図鑑」の開催 季節に見られる花や果実等の紹介

「原寛博士が軽井沢で発見した植物（仮）」7月～11月を予定

(3) 講座等

①植物観察会 町植物園 4月～10月 1～2回／月

②講演会 夏から秋の開催を予定

(4) その他

①資料の収集等 軽井沢の植物や関連する植物の資料の収集

②広報活動 関係機関へ見頃の植物等の情報提供、問合せ対応

③施設・設備等の整備

軽井沢に自生する植物等の系統保存

植物園各種整備（展示館エアコン機器購入運搬設置他）

④調査研究事業等

軽井沢の植物調査

⑤研究協力

東京農業大学 生物資源開発学科 教授山田晋博士

⑥著作活動

軽井沢で発見された植物について

⑦植物標本作成

⑧学習支援

植物一般問合せ 学校教育等受入れ ボランティア活動受入れ

⑨その他

種苗の配布、植物調査、生育地・生育環境、栽培等に関する情報提供

令和8年度室生犀星記念館事業計画

1. 活動方針

室生犀星が自ら設計し建てた離れや毎夏過ごした山荘と、犀星がこよなく愛し手を入れ続けた苔庭を保存するとともに、公開し、周知に努める。

2. 重点目標

室生犀星記念館苔庭の整備

3. 事業計画

(1) 室生犀星記念館の開館

4月29日(水・祝)～11月3日(火・祝)

(2) 室生犀星記念館の維持管理、苔庭の整備等を行う。

(3) 資料の収集保存

随時、室生犀星の軽井沢に関する資料の情報を集める。

資料の整理保管等は堀辰雄文学記念館で行う。

(4) 広報、PR活動

町の広報誌・ホームページなどの掲載を始め、テレビ・新聞・雑誌等の取材には積極的に応じ、PR活動に努める。

令和8年度ショーハウス記念館事業計画

1. 活動方針

軽井沢の恩父と呼ばれるアレキサンダー・クロフト・ショー師の別荘(復元)を見学してもらうことにより、軽井沢の避暑地としての歴史を学び文化意識の向上につなげる。また、建物等の整備・保存をしていく。

2. 重点目標

ショーハウス記念館建物等の管理及び保存・整備

3. 事業計画

(1) ショーハウス記念館の開館

4月1日(水)～11月3日(火・祝)

(2) ショーハウス記念館の管理契約の締結

令和8年4月～令和9年3月31日(水)

委託先 ショー記念礼拝堂 箭野司祭

(3) ショーハウス記念館の建物等の整備

・建物の各所について傷んでいるため随時修繕を行う。

・高窓・雪止め清掃委託

(4) 広報、PR活動

町の広報誌・ホームページ掲載を始め、テレビ、新聞、雑誌等の取材に応じ、PR活動に努める。

令和8年度軽井沢型絵染美術館事業計画

1. 活動方針

無形文化財人間国宝 故芹沢鉢介氏に師事し、日本の伝統的な技法をベースとしながら、ヨーロッパや中米、アジアなど海外的なモチーフなど、独特の感性で作り上げられた 故小林今日子氏の作品を、毎年テーマを決めて展示する。

寄贈された型絵染の保存及び周知に努める。

2. 重点目標

型絵染美術館の整備および広報活動

3. 事業計画

(1) 型絵染美術館の開館

7月1日(水)～11月3日(火・祝)

(2) 型絵染美術館の整備

7月の開館前に敷地内及び駐車場の整備や開館中の表示について準備を行う。

(3) 型絵染美術館リーフレットの増刷

府内印刷にてリーフレットを作成。他文化施設の事業案内も掲載する。

(4) 型絵染普及のための広報活動を行う。

今年度のテーマのチラシを府内印刷で作成し配布する。

配布先は、近隣宿泊施設や美術館のほか。

(5) 広報、PR活動

町の広報誌・ホームページ掲載を始め、新聞・雑誌等の取材に応じ、PR活動に努める。